

河北新報

号外

発行所

仙台市青葉区五橋1-2-28

河北新報社

河北新報
オンラインニュース



ご購読のお申し込みは
フリーダイヤル

0120-09-3746

仙台育英 決勝進出

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
仙台育英	0	11	2	0	0	2	2	0	1	18
聖光学院	1	0	0	0	0	3	0	0	0	4

全国高校野球 聖光学院に18-4



2回表仙台育英1死一、三塁、斎藤陽が右前に適時打を放つ。投手佐山、捕手山浅(佐藤将史撮影)

甲子園球場(兵庫県西宮市)で開かれている第104回全国高校野球選手権大会第13日は20日、準決勝が行われ、仙台育英は18-4で聖光学院(福島)に大勝し、7年ぶり3度目の決勝進出を決めた。

仙台育英は1点を先取された直後の二回に畳みかけた。打者14人を送り、4連打を含む7安打を集める猛攻で11点。

無死二、三塁から秋元の右前打で追い付くと、高橋の左前打で勝ち越し。さらに尾形、斎藤陽の適時打、遠藤の右中間への3点二塁打などで得点を重ねた。

その後も2死無走者から2得点した三回など、隙のない攻めを見せた。

聖光学院は一回に三好の左前打で先制。14点を追う六回は打者9人を送って3点を返す意地を示した。

21日は休養日。仙台育英は大会最終日の22日、近江(滋賀)―下関国際(山口)の勝者との決勝に臨む。